

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【味生小学校】

<第4学年：味生っ子やさしさ調査隊・障がいのある方からいろいろなことを学ぼう>

視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由のある方の普段の生活の様子について講話を聞き、それぞれの立場に立って、苦労や思い、願いについて考えた。2回目の交流では、手話、白杖、ガイドヘルプの三つのグループに分かれて、福祉体験を行った。その後、疑似体験やサポート体験を通して、どのようなことが大変だったのか、どのような気持ちになったのかなど、普段の自分たちとの違いから、それぞれに課題意識をもって調べ学習を行った。そして、自分なりに「みんなが暮らしやすい社会」のためにどのようなことが必要か、どのような工夫ができるのかについて考えた。また、校内や校外のバリアフリーを調べ、自分たちの考えたことを実生活に生かし、暮らしやすい地域社会をつくっていかうとする気持ちを高めることができた。

<第5学年：世界のとびらをあけよう・外国の生活や文化について話を聞こう>

総合的な学習の時間「世界のとびらを開けよう」の導入として、マレーシアの文化や生活について話を聞くことにより、諸外国への興味をもつことができた。マレーシアの国土をはじめ、日本人学校の様子、食生活、伝統的行事など、様々な観点から日本と似ている点、違っている点に気付くことができた。

この導入をきっかけに、子どもたちは世界の異なる様々な文化や生活があることを知り、視野を広げることができた。また、他の国の現状から貧しい人や弱い立場にある人のためにできることを考えようとする意識を高めることができた。さらに、マレーシアの歴史的背景から平和を願う気持ちを高めることもできた。



<手話の様子>



<車椅子の方の講話>



<講師の話聞く様子>